

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
プロポーション美学		モデル科		期区分	前期	時間数	30時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技60% 講義40%		なし			
科目概要	モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、美容、ヘアメイク、外見作りの一般常識や理論を学ぶ。さらに自己表現に向けて、なりたいイメージを実現するために、内面と外面の充実、感性を磨く術、イメージアップ・セルフケアなどの日々の取り組みを理解し、後期3回の撮影を通じてポートフォリオ作成に向けて尽力する。						
習得項目	1.スキンケアやメイク、ヘアアレンジ、ベストカラー、骨格診断など、理論を学びセルフイメージを完成させていく。 2.オーディション用ナチュラルヘアメイクのほか、ファッションイベントや、イメージ別撮影に向けて、撮影イメージ、ヘアメイクや衣装、ポージングなどを提案し、個人の他、クラスとしても互いに作品を創り上げることができる。						
評価方法	出席率60%未満の場合は不可。毎授業の課題と取り組みの評価、課題提出物、期末試験、すべて100点満点で評価し、成績は平均点で算出する。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	オリエンテーション(モデル心構え、授業受け方、ポートフォリオ必要性)					4月18日
	2	セルフイメージを構築する。ヘアメイク、ベストカラー、骨格診断、印象分析の一般理論と実習					
		①スキンケア;美肌を作る肌質別デイリースキンケア、栄養素					4月25日
		②顔のゴールデンプロポーション;骨格と似合うメイクバランス					5月9日
		③ヘア1;似合うヘアスタイル、顔型とヘアバランスの関係					5月16日
		④ヘア2;デイリーヘアケアについて、髪質とシャンプー剤、ヘアケア用品					5月23日
		⑤ナチュラルメイク実習1;ベースメイク、空間処理					5月30日
		⑥ナチュラルメイク実習2;アイブロウメイク					6月6日
		⑦ナチュラルメイク実習3;アイメイク、チーク、リップ					6月13日
		⑧ベストカラー診断;似合う色とは?ベストの洋服、メイクカラー、ヘアアカラーなど					6月20日
		⑨印象分析;もともと持っている印象を知り、似合う洋服バランスやイメージを理解					6月27日
		⑩骨格診断;自らの骨格バランスを知り、似合う洋服イメージやアイテムを理解					7月4日
	3	イメージ別ヘアメイクアレンジ、様々なファッションイメージについて考察					
		前期修了試験、振り返り、後期撮影に向けファッションイメージ考察(夏休み課題)					7月11日
		前期ショーリハーサル					7月26日
講師区分	非常勤	講師名	山田奈生子	関係実務経験	イメージコンサルタント・ヘアメイク、美容師として雑誌、広告の撮影や、個人や企業のイメージコンサルティング、外見セミナーをおこなう。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
プロポーション美学		モデル科		期区分	後期Ⅰ	時間数	30時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技60% 講義40%		なし			
科目概要	モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、美容、ヘアメイク、外見作りの一般常識や理論を学ぶ。さらに自己表現に向けて、なりたいイメージを実現するために、内面と外面の充実、感性を磨く術、イメージアップ・セルフケアなどの日々の取り組みを理解し、後期3回の撮影を通じてポートフォリオ作成に向けて尽力する。						
習得項目	1.スキンケアやメイク、ヘアアレンジ、ベストカラー、骨格診断など、理論を学びセルフイメージを完成させていく。 2.オーディション用ナチュラルヘアメイクのほか、ファッションイベントや、イメージ別撮影に向けて、撮影イメージ、ヘアメイクや衣装、ポージングなどを提案し、個人の他、クラスとしても互いに作品を創り上げることができる。						
評価方法	出席率60%未満の場合は不可。毎授業の課題と取り組みの評価、課題提出物、期末試験、すべて100点満点で評価し、成績は平均点で算出する。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
		後期1(オリエンテーション、夏休み課題発表と評価、撮影1、2、3テーマ決定)				9月5日	
	4	ステップ2を踏まえナチュラルヘアメイク完成(前期のヘアメイク復習)					
		①ナチュラルヘアメイク実習1				9月12日	
		②ナチュラルヘアメイク実習2				9月26日	
	5	イメージ撮影実習1.2.3と準備、各撮影振返り					
		①撮影実習1に向けて;衣装やヘアメイク、撮影イメージ準備				10月3日	
		②撮影実習1				10月17日	
		③撮影実習2に向けて;衣装やヘアメイク、撮影イメージ準備				10月24日	
		④撮影実習2				10月31日	
		⑤撮影実習3に向けて;衣装やヘアメイク、撮影イメージ準備				11月7日	
		⑥撮影実習3				11月14日	
		撮影振返り				11月21日	
	6	後期1修了試験、後期撮影と全授業振返り				11月28日	
	講師区分	非常勤	講師名	山田奈生子	関係実務経験	イメージコンサルタント・ヘアメイク、美容師として雑誌、広告の撮影や、個人や企業のイメージコンサルティング、外見セミナーをおこなう。	

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
ヘアメイク		モデル科		期区分	前期	時間数	32.5時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	講義50%・実技50%		なし			
科目概要		ヘアスタイリングによる印象の変化、みせ方を学ぶ 自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングテクニックを学ぶ					
習得項目		ヘアスタイルによる印象の違い 求められるイメージを自分自身で表現をできるようになる					
評価方法		授業態度、取り組みへの意欲、課題の提出 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	オリエンテーション 講師紹介、ヘアスタイリング概論				4月18日	
	2	ヘアスタイリングで変わる印象1				4月25日	
	3	ヘアスタイリングで変わる印象2				5月9日	
	4	イメージをつくるヘアスタイリング1				5月16日	
	5	イメージをつくるヘアスタイリング2				5月23日	
	6	カワイイ印象のヘアスタイリングをつくり撮影				5月30日	
	7	カッコイイ印象のヘアスタイリングをつくり撮影				6月6日	
	8	K-POPアイドルな印象のヘアスタイリングをつくり撮影				6月13日	
	9	カジュアルな印象のヘアスタイリングをつくり撮影				6月20日	
	10	フォーマルな印象のヘアスタイリングをつくり撮影				6月27日	
	11	テスト: 自身で撮影をプロデュースをしヘアスタイリングをつくり撮影				7月4日	
	12	テストフィードバック				7月11日	
	13	前期ショーリハーサル				7月28日	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
マスメディア論		モデル科		期区分	前期	時間数	37.5時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	オンライン(講義50%、実技50%)		なし			
科目概要	ファッション・エンタメ業界におけるメディアの成り立ちとその重要性を学び、自己ブランディングに必要な知識を得る。学校のブログを使って発信することで、自己表現を体験的に習得する。						
習得項目	自らが起用される記事・広告・媒体のカラー・顧客層を把握し、実際に大衆に届くまでのフローを理解することで、編集やカメラマン、クライアントとしての立場から、どのようなモデルが望まれるのかを知る。また、SNS運用を学ぶことで、セルフプロデュース力をつける。						
評価方法	オンライン授業に対するリアクション、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	オリエンテーション					4月12日
	2	ファッションを題材にしたマスメディアの歴史					4月19日
	3	ブログ制作／自己分析と長所を活かす					4月26日
	4	雑誌の制作体制について／表紙ラフの作成					5月10日
	5	ブログ制作／写真の撮影・加エアプリ					5月17日
	6	ファッションメディアにおける広告の役割／キャッチコピー制作					5月24日
	7	ブログ制作／より多くの人に興味を持ってもらう					5月31日
	8	記事と広告と記事広告／タイアップ広告企画書とペルソナシート作成					6月7日
	9	ブログ制作／リクエストに対する反応					6月14日
	10	映画や音楽から派生したファッションの流行					6月21日
	11	ブログ制作／ムービーを活かした投稿					6月28日
	12	WEBメディアの台頭とSNSによるプロモーション					7月5日
	13	テスト(課題)					7月12日
	14	ブログ:プライバシーに関する情報の管理					7月19日
	15	前期ショー・リハーサル					7月26日
講師区分	常勤	講師名	福嶋 哲平	関係実務経験	IT系出版社での編集者、およびフリーランスの編集者／ライターの実務経験者であり、ツールの使い方指導を行う。		

2022年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
ウォーキング & ポージング		モデル科		期区分	通年	時間数	190
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	モデル科	実技90% 講義10%		無し			
科目概要	プロモデルに必要な基本						
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力(セルフプロモーション)						
評価方法	授業、態度、出席状況、実技の習得状態						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	自己紹介 授業内容説明、採寸					4/13
	2	モデルの仕事について説明、モデルに必要な立居振舞					4/19
	3	基本姿勢、ウォーキング、ポージング、ターン、動画撮影					4/20～4/28
	4	基本ウォーキング、採寸					5/10
	5	1/4ターン、1/2ターン、1回転、ショーの動画を見る					5/11～5/31
	6	浴衣、着物のポーズ、見せ方、歩き方、たたみ方					6/7～6/15
	7	ショー形式の見せ方					6/22～7/12
	8	前期修了ショーの練習、前期テスト、動画撮影					7/13～7/20
	9	前期復習、採寸					9/6
	10	応用編 小物の扱い方、見せ方					9/7～9/28
	11	ウエディング、ロングドレス、フォーマルウェアの見せ方、歩き方					10/4～11/1
	12	ジャケット、コートetc,脱ぎ方、見せ方、歩き方					11/2～11/30
	13	自己PRの練習、オーディションのシュミレーション(CM,ショー)					12/6～12/21
	14	復習、応用編、後期テスト					1/11～1/25
	15	ショー形式の見せ方、卒業修了ショーの練習					1/31～2/7
		ショー週間					2/8～2/22
講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子(代表)	関係実務経験	オスカープロモーション(美少女、モデル教育) 企業、大学 etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
フォトセッション		モデル科		期区分	通年	時間数	95
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	モデル科	実技90% 講義10%		無し			
科目概要	プロモデルに必要な基本						
習得項目	50種類以上のポーズが取れる事						
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状況 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	オリエンテーション				4/13	
	2	基本の撮影、コンポジット作成の為の撮影				4/20～5/11	
	3	基本の撮影、ロケ撮影				5/18～5/26	
	4	浴衣の撮影、着方、たたみ方				6/8～6/22	
	5	雑誌のイメージ撮影				6/29～7/20	
		前期修了ショー				7/27	
	6	前期の復習、アート展などの展示会へ				9/7～10/5	
	7	ウエディング、ロングドレス、タキシード等エレガンスな撮影				10/12～11/2	
	8	ジャケット、コート等の撮影				11/9～11/30	
	9	小物、グッズ用撮影				12/7～12/21	
	10	ブック、総まとめ				1/12～1/26	
		ショー週間				2/8～2/22	
講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子(代表)	関係実務経験	オスカープロモーション(美少女、モデル教育) 企業、大学 etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
ダンスレッスン		モデル科		期区分	通年	時間数	92.5時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	モデル科	実技95%、講義5%		なし			
科目概要	ダンス全般を習うことによって、正しい姿勢、見られる身体作りを学び、モデルとして身体表現を自然に出来る様、またダンスを自分の武器に出来る様にする。						
習得項目	1. 人間本来の綺麗な姿勢を取り戻し、日本人にありがちなO脚を直す。 2. 音楽を聴いて、身体で表現する事を学ぶ 3. オーディション対策やその後の仕事をしていく上で、ダンスができる強みを作る。						
評価方法	平常点(授業中の態度や取り組み方、積極性など)が75パーセント、テストの実技点が25パーセントで評価する。 ダンスの経験値にかかわらず、その人自身の伸びしろや努力を評価。(出席率が75パーセント未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65パーセント未満の場合は留年。)						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	自己紹介、一年の流れ、音楽とダンスの基礎知識					4月14日
	2	HipHopの基礎、身体作り					4月14日～28日
	3	前期ショーへ向けての振り付け演習					5月11日～7月21日
	4	前期実技テストと前期のまとめ					7月21日
	5	Jazzダンスの基礎、応用、身体作り					9月1日
	6	Jazzダンスの基礎、応用と振り付け演習					9月1日～11月24日
	7	Jazzダンスの基礎、応用と振り付け演習					12月1日～12月22日
	8	後期発表(授業内にて)					12月22日
	9	ペアダンスをやってみよう。振り付け演習。					1月12日～26日
	10	後期発表(授業内にて)					2月2日
		ショー週間					2月9日～2月16日
講師区分	非常勤	講師名	浅井みどり	関係実務経験	プロダンサー アルゼンチンタンゴ世界大会優勝経験あり		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
演技実習		モデル科		期区分	通年	時間数	92.5時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技80% 講義20%		なし			
科目概要		台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技					
習得項目		1. はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける 2. 身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う 3. 与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う					
評価方法		・外部講師による授業(現代アクション)の場合は、同授業中に各生徒の取組姿勢などをチェックして記録する ・実技や実践授業のあとは、各生徒にレポートを書かせて、理解度を確認し、評価・採点の対象とする ・試験日に限らず、授業内の実技課題の発表ごとに、評価記録を作成し、採点の際に用いる					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	『「演じる」とは何か、モデルに求められる表現力とは』(講義)				4月14日	
	2	発声と滑舌訓練「外郎売」ほか＞舌根と表情筋を鍛え、豊かな表情を作る				4月21日～7月21日	
	3	舞台演劇用基礎台本を演じる(読み・動作)				4月27日～7月21日	
	4	映像ドラマ台本を演じる(読み・動作)				6月2日～6月30日	
	5	演技の集中力を体感する＞舞台演劇課題「An escape(エスケープ)」				7月7日～7月21日	
	6	演技の集中力を体感する／現代アクション＞演技に必要な身体表現				5月21日～7月21日(不定期)	
	7	発声と滑舌訓練「外郎売」ほか＞舌根と表情筋を鍛え、豊かな表情を作る				9月1日～10月20日	
	8	演技の集中力を体感する／現代アクション＞演技に必要な身体表現				9月21日～11月24日(不定期)	
	9	全員でひとつの作品を演じる＞舞台演劇課題「インテグレーション」				9月1日～10月20日	
	10	さまざまな台本を読む・台詞を覚えて動く				11月10日～11月24日	
	11	さまざまな台本を読む・台詞を覚えて動く				12月1日～12月22日	
	12	演技の集中力を体感する／現代アクション＞演技に必要な身体表現				12月1日～12月22日(不定期)	
	13	取り組みの強化および応用実技＞エチュード(即興演技)で自由に演じる				1月12日～1月26日	
	14	最終試験課題として作品を創作・発表＞グループワーク創作・最終レポート提出				1月12日～2月2日	
		ショー週間				2月9日～2月16日	
	講師区分	非常勤	講師名	田口 萌	関係実務経験	劇団 球代表／北区つかこうへい劇団 井上ひさし戯曲作法塾第3期生 1987年東映デビュー／俳優・モデル・リポーター・ 脚本・演出・劇作家協会員	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
栄養学		モデル科		期区分	通年	時間数	95時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	講義・調理実習		なし			
科目概要	生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。 モデルとしての体型形成、および維持と健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。						
習得項目	人の消化・吸収・代謝のメカニズムをベースに、栄養素の種類と体内の働き、調理および調理科学の基礎、 栄養バランスの整った食事について習得する。						
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修威力・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、 その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。 出席率が65%未満の場合は留年とする。)						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	初回オリエンテーション(授業の進め方・書籍・持ち物について説明)					4月15日
	2	栄養素の種類と基礎知識、食品群別の栄養的特徴を知る					4月22日～5月6日
	3	栄養バランスの評価法、調理実習準備					5月13日
	4	調理実習①					5月20日
	5	ライフステージ別栄養管理(最初の1000日～シニア期)					5月27日～6月17日
	6	年齢・性別・体型別のエネルギー及び栄養摂取量について、実習準備					6月24日～7月1日
	7	調理実習②					7月8日
	8	消化・吸収・代謝のメカニズム(咀嚼・腸内環境)					7月15日～7月22日
	9	5大栄養素応用(炭水化物・たんぱく質・脂質・ビタミン・ミネラル)					9月2日～10月14日
	10	生体リズムに合わせた栄養素の摂取方法(時間栄養学)、実習準備					10月21日
	11	調理実習③					10月28日
	12	不定愁訴別栄養ケア(肌荒れ・冷え・貧血・疲れやすい等)					11月11日～11月25日
	13	不定愁訴別栄養ケア(メンタルダウン・肩こり・むくみ・PMS等)					12月2日～12月16日
	14	調理実習④					12月23日
	15	実践栄養学(サプリメントーション・栄養素から食品、食品から献立への展開法)					1月13日～2月3日
		ショー週間					2月10日～2月24日
講師区分	非常勤	講師名	島田 奈美	関係実務経験	保育園や社員食堂等フードサービス業界での メニュー開発・衛生管理責任者、クリニックでの栄養 指導、企業における栄養研修講師。 働く女性、母子健康の啓発事業に携わる。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
マナー		モデル科		期区分	前期	時間数	35時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	講義70%・実技30%		なし			
科目概要		モデルとして心得ておくべき知識、マナーを学ぶ 講義と実践を用いて、社会人としてのマナーを身につける					
習得項目		基本マナーおよび、ビジネスマナー ファッション、モデル知識、時事問題への理解					
評価方法		・授業、課題への取り組み ・課題提出物 ・筆記または実技テスト ・出欠状況					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	オリエンテーション(授業内容説明)				4月15日	
	2	挨拶、身だしなみ				4月22日	
	3	業界研究①モデル(俳優、タレント)の仕事について				5月6日、13日	
	4	業界研究②ファッションショー、ブランド				5月20日、27日	
	5	メール・ハガキ・封筒・手紙の書き方、名刺作り				6月3日、10日	
	6	食事・会食のマナーについて(日本と海外の違いなどを比較、考察)				6月17日、24日	
	7	時事問題・一般常識演習・ディスカッション				7月1日、8日	
	8	テスト、授業まとめ				7月15日	
	9	実践的な振る舞いを映像で学ぶ				7月22日	
講師区分	常勤	講師名	飯田 紗綾	関係実務経験	企業向けの入社研修でのマナー指導経験		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
オーディション対策		モデル科		期区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	演習80% 講義20%		なし			
科目概要	オーディションへのエントリー、ならびに準備と対策						
習得項目	モデルとして仕事をする為に、業界の情報をリサーチし理解を深め、その上で必要な書類作成、オーディションでのマナーを身につけ事務所所属を目指す						
評価方法	授業態度、プレゼンテーション能力、課題作品点、テスト						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)	
	1	授業説明、自己紹介				9月2日	
	2	自己分析、他己分析				9月9日	
	3	モデルリサーチ				9月16日～10月14日	
	4	事務所リサーチ				10月21日～11月11日	
	5	事務所エントリーについて(履歴書書きかた)				11月18日～11月25日	
	6	ビジネスマナーの習得(基本マナー、敬語)				12月2日	
	7	こんどうさんメイク講座				12月9日	
	8	ビジネスマナーの習得(電話、メール)				12月16日	
	9	ビジネスマナーの習得(挨拶、コミュニケーション)				12月23日	
	10	ビジネスマナーの習得(クッション言葉)				1月13日	
	11	ビジネスマナーの習得(席次)				1月20日	
	12	テスト				1月27日	
	13	ショー週間				2月3日～2月24日	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
コンポジット		モデル科		期区分	後期	時間数	57.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	演習50%・実技40%・講義10%		なし			
科目概要	各アプリケーション(Illustrator・Photoshopなど)の基本操作や知識を学び、作品を製作していく。 最終的に、自身のコンセプトを表現する為のツールとして使いこなせる様にする。 また、授業を通してモデルとしての写真表現の幅を広げる。						
習得項目	Illustrator初～中級操作および、Photoshop初級操作 コンポジット作成スキル PowerPointを使用したプレゼンテーションツール作成基本操作						
評価方法	・授業、課題への取り組み ・課題提出物 ・テスト ・出欠状況						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	オリエンテーション(授業内容説明、ソフトウェアの使い方、操作説明)				9月6日	
	2	Illustrator 図形描画・文字・カラー設定(コンポジット製作1に向けて)				9月13日	
	3	Illustrator クリッピングマスク(コンポジット製作1に向けて)				9月20日	
	4	Photoshop 基本ツール説明、写真加工(歪みツール、スタンプツールなど)				9月27日	
	5	コンポジット製作1(卒業制作ファッションショー/オーディション用)				10月4日	
	6	Illustrator トレース				10月11日、10月18日	
	7	Illustrator課題①(素材集め、メッセージカード製作)				11月1日	
	8	コンポジット製作2(1の修正、最新版作成)				11月 8日	
	9	IllustratorとPhotoshop課題②(企画、素材集め、加工、映画ポスター製作)				11月15 日、22日、29日	
	10	後期 I 制作物発表				12月6日	
	11	コンポジット製作3				12月13日	
	12	コンポジット製作4				12月20日	
	13	IllustratorとPhotoshop課題③(企画、素材集め、加工、ミニ写真集製作)				1月10日、17日	
	14	コンポジット製作5				1月24日	
	15	期末テスト				1月31日	
	16	おさらい、まとめ				2月7日	
	17	ショー週間				2月14日～2月21日	
講師区分	常勤	講師名	飯田 紗綾	関係実務経験	なし		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
PCワーク		モデル科		期区分	後期	時間数	52.5時間
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技90%、講義10%		なし			
科目概要	Windows/パソコンの操作方法と、ビジネスソフト(Word・Excel・Powerpoint)の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使った文章作成技術を習得。 Excelを使って表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使ってプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。						
習得項目	1.Windows/パソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文章作成を行えるようにする。 3.Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使ったプレゼンテーションデータを作成する。						
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	Windows/パソコンの基本操作・タイピングの基本					9月6日
	2	Wordを使ったビジネス文章作成・商品クレジットの入力					9月13日
	3	Wordを使った画像・図形入り文章の作成					9月20日
	4	Wordを使ったプレスリリースの作成・PDFデータへの変換					9月27日
	5	Excelを使った表の作成(罫線の引き方・セルの色塗り)					10月4日
	6	Excelを使った四則計算を含んだ請求書の作成					10月11日
	7	Excelを使った関数を含んだ表の作成(SUM・AVERAGE等)					10月18日
	8	Excelを使ったグラフの作成(円・棒グラフ)					10月25日
	9	Excelを使ったグラフの作成(折れ線グラフ・行と列の入れ替え)					11月1日
	10	Excelを使ったグラフを含めたレポート文書の作成					11月8日
	11	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(課題発表・基本)					11月15日
	12	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(アニメーション)					11月22日
	13	Powerpointデータの作成(発表者ツールの使い方)					11月29日
	1	PowerPointの発表・講評とデータの修正					12月5日
	2	Wordの応用(図形を使って地図入りの案内状を作る)					12月12日
	3	Excelの応用					12月19日
	4	Word・Excelの復習(総ざらい)					1月16日
	5	Word・Excelのテスト					1月23日
	6	ビジネスメールの作成・送受信(添付ファイルの容量)					1月30日
	7	Wordを使ったファッションショーの招待状+添え状の作成					2月6日
	8	ショー準備期間					2月13日
	9	ショー片付け日					2月20日
講師区分	常勤	講師名	鶴本望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や入社研修でのIT技術指導の経験		